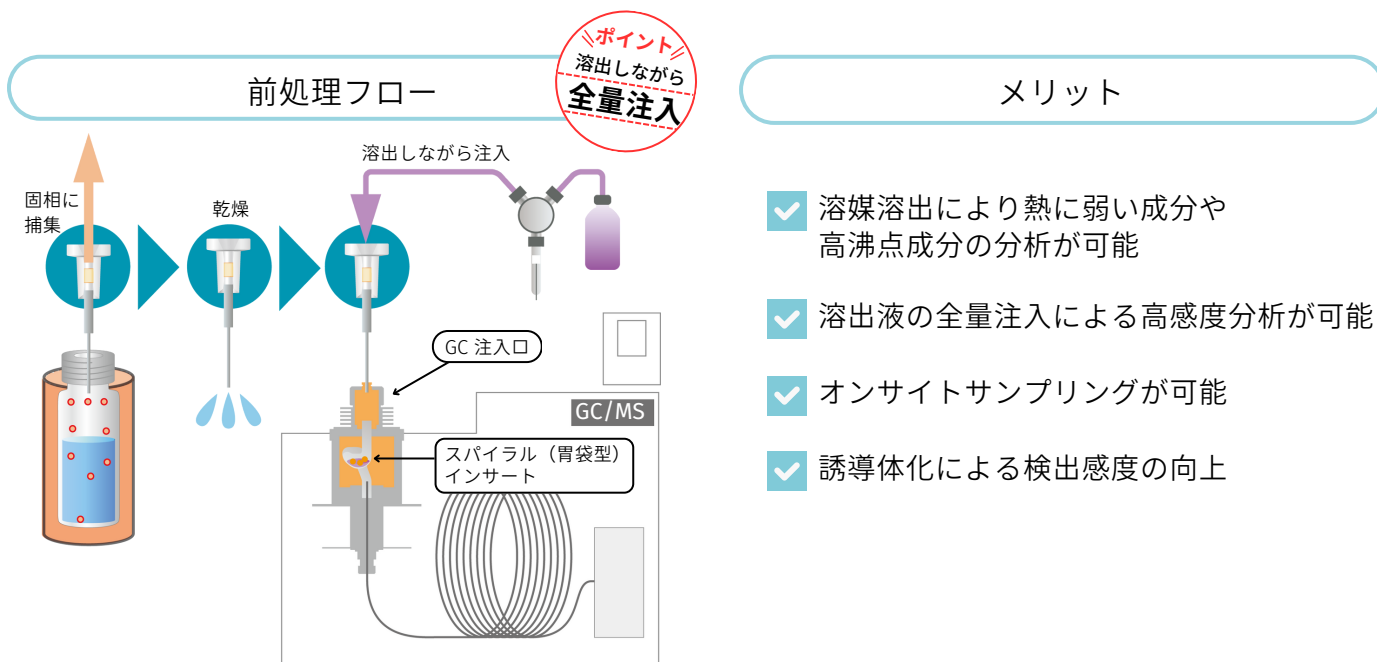


におい分析の新手法。

オンライン SPE-GC / MS システム SPL シリーズ用オプション部品

固相捕集 – 溶媒溶出法

サンプルバイアル中の気相を固相カートリッジに吸引通気させ、揮発成分を捕集。その後、固相からの溶出液を全量GC/MSに注入します。



課題

- ・加熱脱着による熱分解
- ・脱着不足によるキャリーオーバー

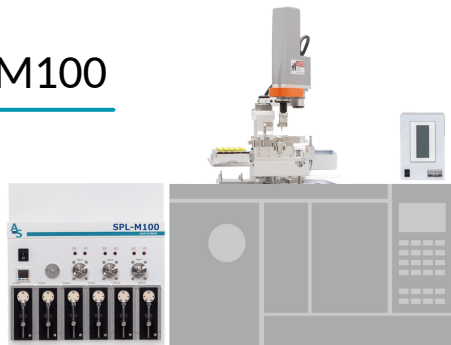
解決
します！

におい分析用オプションの装着

メタボローム +におい分析

メタボローム分析 (アミノ酸/有機酸/糖など) のみならず、におい分析にも対応！

SPL-M100



アミノ酸
有機酸
脂肪酸

糖類
核酸塩基

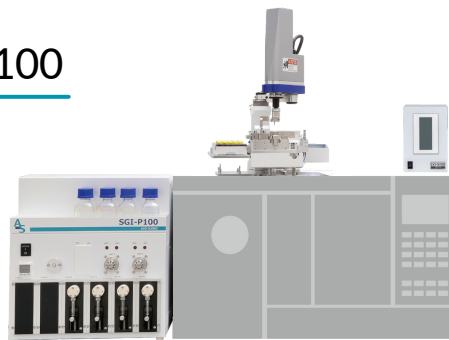
+

におい
分析

水質分析 +カビ臭

水質分析のみならず、カビ臭分析にも対応！

SPL-P100



水中農薬一斉分析
クロロフェノール
シマジン・チオベンカルブ分析

ノニルフェノール
有害物質モニタリング分析

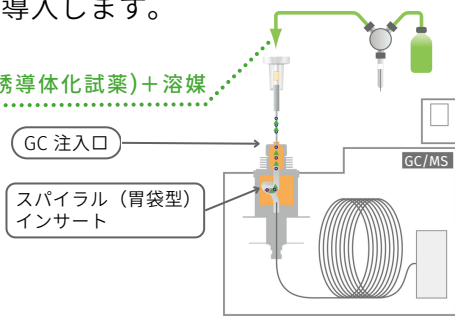
+

カビ臭
分析

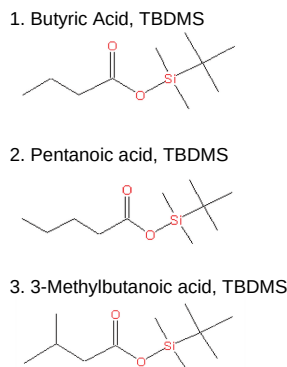
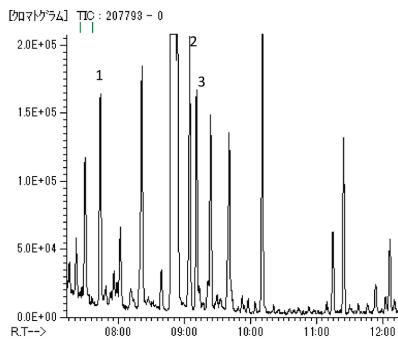
誘導体化法

サンプル吸引後、そのまま注入口へニードルを挿入。
MTBSFA（誘導体化試薬）で誘導体化反応を行い、
GCカラムへ導入します。

MTBSFA(誘導体化試薬) + 溶媒

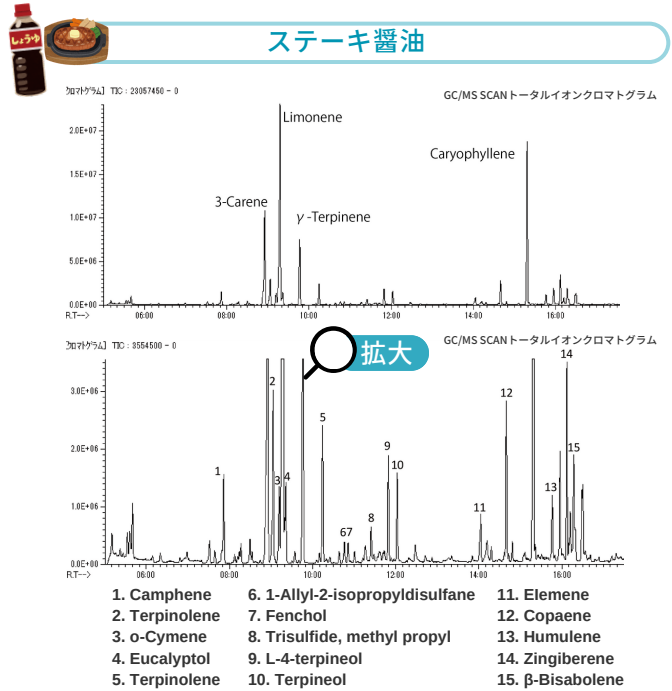


納豆 (誘導体化分析)

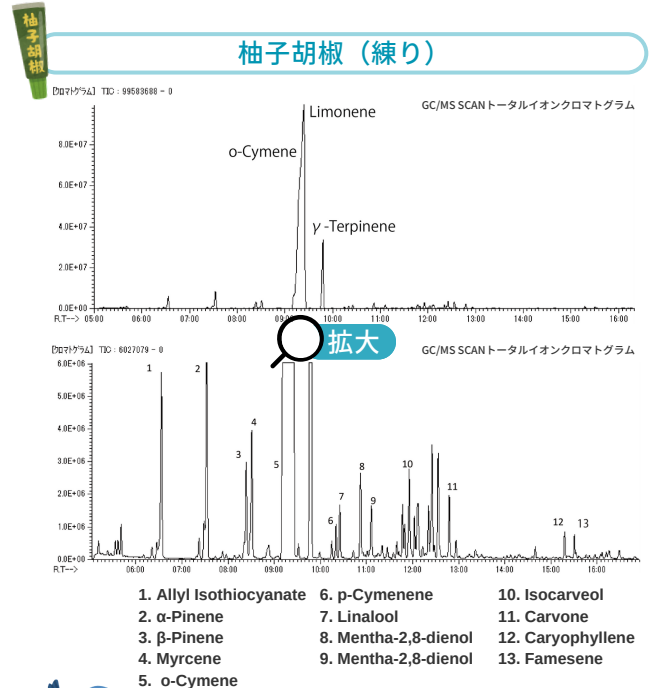


アプリケーション

ステーキ醬油

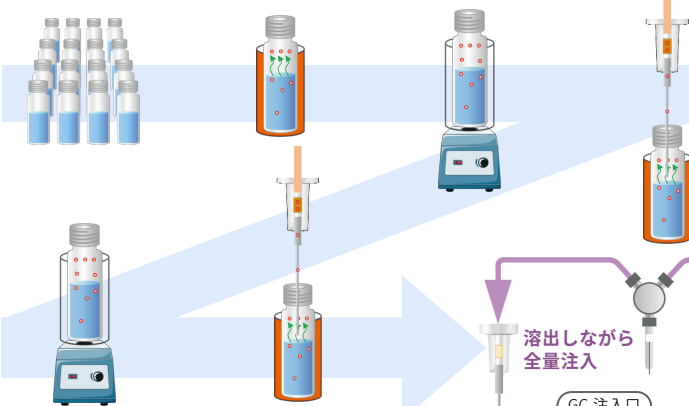


柚子胡椒 (練り)

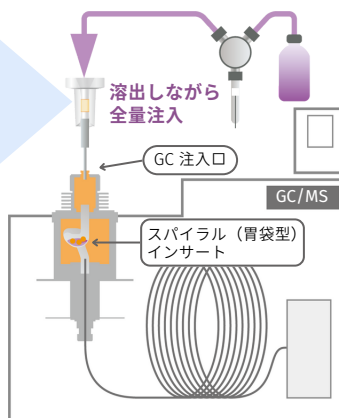


におい成分の捕集

- 1 トレーに試料バイアルをセット
- 2 ヒーターブロックで加温
- 3 ミキサーで攪拌液相と気相を混ぜる
- 4 固相に気相を吸引 (1回目)

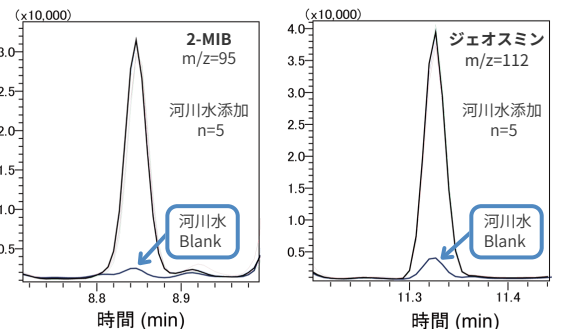


- 5 ミキサーで攪拌液相と気相を混ぜる
- 6 固相に気相を吸引 (2回目)
- 7 ニードルをGC/MS注入口へ溶出 & 注入



カビ臭 (河川水)

定量イオンクロマトグラム 連続測定n=5の重ね書き



試料 : 河川水 NaCl添加 : 3g
試料量 : 8mL 添加濃度 : 10ppt (水質基準における基準値)